

厚生労働省福島労働局発表

令和7年1月27日

担当	福島労働局雇用環境・均等室 室長 高羽 秀幸 雇用環境改善・ 均等推進指導官 後藤 典
	TEL 024-536-4609

## 2社合同開催

# えるぼし認定通知書交付式

### 第3段階

## 株式会社 ヨシハラ

(本宮市、製造業) 代表取締役 よしはら りゅうすけ 吉原 隆介 氏



### 第2段階

## イービーエム 株式会社

(福島市、製造業) 代表取締役 ぼく よんがん 朴 栄光 氏



- 福島労働局(局長 いぐち まさよし 井口 真嘉)は、株式会社ヨシハラから申請を受けた「女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定」について審査した結果、評価項目(①採用、②継続就業、③労働時間等の働き方、④管理職比率、⑤多様なキャリアコース)を全て満たすことから、**最も高い認定段階である「第3段階」に認定しました。**
- さらに、イービーエム株式会社から同申請を受け審査した結果、認定基準の評価項目(①採用、③労働時間等の働き方、④管理職比率、⑤多様なキャリアコース)を満たし、②継続就業は2年以上の連続した改善がみられることから、**「第2段階」に認定しました。**
- 今回の認定により、福島県内の認定企業数は**25社(「第3段階」は18社、「第2段階」は7社)**になりました。
- 認定企業に対する「認定通知書交付式」は下記により実施します。

日時

令和7年1月28日(火) 16:00~

会場

福島第二地方合同庁舎3階会議室(福島市花園町5-46)

交付式へ写真撮影、認定企業への取材は可能です(会場に直接お越し下さい)。

### えるぼし認定とは

女性活躍推進法に基づく行動計画の策定・届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する状況が優良である等の一定の要件を満たした場合に認定します。なお、評価基準を満たす項目数に応じて3段階あります。

## 株式会社 ヨシハラ (本宮市)

- 代表者：代表取締役 吉原 隆介 氏
- 事業内容：製造業（プラスチック製品製造業）
- 労働者数：30名（男性5名、女性25名）



## えるぼし認定基準に係る5つの評価項目とその達成状況

<b>【評価項目1：採用】(区)</b> ①と②の両方に該当すること。 ①正社員に占める女性労働者の割合が産業平均値以上であること。 ②正社員の基幹的な雇用管理区分における女性労働者の割合が産業平均値以上であること。	令和5年度 ①80.0% ≧ 22.7% ②87.5% (製造業務) ≧ 16.8%
<b>【評価項目2：継続就業】(区)</b> 「女性労働者の平均継続勤務年数」 ÷ 「男性労働者の平均継続勤務年数」 が7割以上であること。 ※期間の定めのない労働契約を締結している労働者に限る。	令和5年度 管理業務 200% 製造業務 97%
<b>【評価項目3：労働時間等の働き方】(区)</b> 労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て45時間未満であること。	令和5年度 管理業務 全月7時間未満 製造業務 全月12時間未満
<b>【評価項目4：管理職比率】</b> 管理職に占める女性労働者の割合が産業平均値以上であること。	令和5年度 50.0% ≧ 3.6%
<b>【評価項目5：多様なキャリアコース】</b> 以下1項目以上の実績を有すること。 ア 女性の非正社員から正社員への転換 イ 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分間の転換 ウ 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 エ おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用	令和3年度～令和5年度 工：1名

※ (区) の表示のある項目については、雇用管理区分ごとに把握を行うことが必要。

### <事業所からのコメント>

2023年、2名の女性従業員が、キャリアアップに資する社外研修を経て主任級職に登用されました。女性従業員が8割を超える弊社の中で、2人には他の女性従業員の見本として業務に励んでもらっています。

他にも、所定外労働を削減するため、所定外労働が20時間を超える場合に当該従業員と上司に業務分担を行うよう通知をしたり、有休取得率の低い従業員の取得率を向上させるため、閑散期に取得の勧奨を行ったりしてワークライフバランスの向上に努めています。

これからも、女性だけでなく、弊社で働く人すべてが働きやすく、意欲をもって働けるような取組を推進していきたいと思っております。

# イービーエム 株式会社 (福島市)

- 代表者：代表取締役 朴 栄光 氏
- 事業内容：製造業（その他の製造業）
- 労働者数：10名（男性2名、女性8名）



## えるぼし認定基準に係る5つの評価項目とその達成状況

<b>【評価項目1：採用】(区)</b> 正社員に占める女性労働者の割合が産業平均値以上であること。	令和5年度 66.7% ≧ 22.7%
<b>【評価項目2：継続就業】(区)</b> 「女性労働者の平均継続勤務年数」 ÷ 「男性労働者の平均継続勤務年数」 が7割以上であること。 満たさない場合は2年以上連続してその実績が改善していること。 ※期間の定めのない労働契約を締結している労働者に限る。	令和5年度 62% 令和4年度 58% 令和3年度 53%
<b>【評価項目3：労働時間等の働き方】(区)</b> 労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直 近の事業年度の各月ごとに全て45時間未満であること。	令和5年度 正社員 全月41時間未満 準社員 全月11時間未満
<b>【評価項目4：管理職比率】</b> 管理職に占める女性労働者の割合が産業平均値以上であること。	令和5年度 100.0% ≧ 6.2%
<b>【評価項目5：多様なキャリアコース】</b> 以下1項目以上の実績を有すること。 ア 女性の非正社員から正社員への転換 イ 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分間の転換 ウ 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 エ おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用	令和3年度～令和5年度 ア：1名

※ (区) の表示のある項目については、雇用管理区分ごとに把握を行うことが必要。

### <事業所からのコメント>

この度は「えるぼし認定」をいただき誠にありがとうございました。

イービーエム株式会社は、「命を救う」外科手術を外科医がトレーニングするためのシミュレータ、模擬医療機器を開発しております。ご家族の行事や体調不良などの突発的な事象に対応するため、Salesforce を中心としたクラウド系の業務基幹システムを導入し、自社で改良開発を続けてきました。これにより、業務を超効率化することで「いつでも休める体制」を構築いたしました。また、学歴不問で採用を続けておりますが、自社で人材教育を徹底することで、DXにも自然と対応できるように社員が育っております。

ご家庭での家事負担割合などは、まだまだ女性のほうが高いのが現状です。しかしながら、女性として社会的に生活してきたことこそが、すでに弊社において業務を進める上で信頼できる「基礎体力」となっていると考えます。これからも、どんどん女性の採用を進め、潜在的な力を解放しながら、これを事業推進並びに拡大へとつなげていく所存です。この「えるぼし」を機に、次は「プラチナ認定」を目指します。

(取材連絡先・担当者：024-573-1125 八巻 )

# 女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし認定」とは？

## ① 女性活躍推進法に基づく厚生労働大臣認定制度

常時雇用する労働者数が101人以上の事業主については、

- ①女性の活躍に関する状況把握・課題分析
- ②一般事業主行動計画の策定、届出、周知、公表
- ③女性の職業生活における活躍に関する情報公表、を行う必要があります。

この一般事業主行動計画の届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良な企業は、労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

## ② 認定の段階と認定マーク

プラチナえるぼし	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定した一般事業主行動計画に基づく取組を実施し、<b>当該行動計画に定めた目標を達成した</b>こと。</li> <li>男女雇用機会均等推進者、職業家庭両立推進者を選任していること。(※)</li> <li>プラチナえるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準の<b>全て</b>を満たしていること(※)</li> <li>女性活躍推進法に基づく情報公表項目(社内制度の概要を除く。)のうち、<b>8項目以上を女性の活躍推進企業データベースで公表している</b>こと。(※)</li> <li>(※)実績を<b>女性の活躍推進企業データベースに毎年公表</b>することが必要</li> </ul>
1段階目	<ul style="list-style-type: none"> <li>えるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準のうち<b>1つ又は2つ</b>の基準を満たし、その実績を<b>女性の活躍推進企業データベースに毎年公表</b>していること。</li> <li>満たさない基準については、事業主行動計画策定指針に定められた取組の中から当該基準に関連するものを実施し、その取組の実施状況について<b>女性の活躍推進企業データベース</b>に公表するとともに、2年以上連続してその実績が改善していること。</li> </ul>
2段階目	<ul style="list-style-type: none"> <li>えるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準のうち<b>3つ又は4つ</b>の基準を満たし、その実績を<b>女性の活躍推進企業データベースに毎年公表</b>していること。</li> <li>満たさない基準については、事業主行動計画策定指針に定められた取組の中から当該基準に関連するものを実施し、その取組の実施状況について<b>女性の活躍推進企業データベース</b>に公表するとともに、2年以上連続してその実績が改善していること。</li> </ul>
3段階目	<ul style="list-style-type: none"> <li>えるぼしの管理職比率、労働時間等の5つの基準の<b>全て</b>を満たし、その実績を<b>女性の活躍推進企業データベースに毎年公表</b>していること。</li> </ul>

## ③ 認定を受けるメリット

- 認定を受けた事業主は、上記認定マークを商品や広告に付すことができ、女性活躍推進企業であることをPRすることができます。
- 認定企業をPRすることで、優秀な人材の確保や企業イメージの向上が期待できます。

## 福島県内の「えるぼし認定」企業一覧

(令和7年1月27日現在)

	企業名	所在地	業種	認定年月日	認定段階
1	社会福祉法人太田福祉記念会	郡山市	医療・福祉	平成28年6月1日	3
2	株式会社東邦銀行	福島市	金融業、保険業	平成28年9月1日	2
3	株式会社福島銀行	福島市	金融業、保険業	平成28年9月7日	2
4	株式会社ニラク	郡山市	生活関連サービス業、娯楽業	平成29年3月1日	3
5	社会福祉法人福島県社会福祉事業団	西郷村	医療・福祉	平成30年1月9日	3
6	株式会社 バストコ (旧 株式会社GlobalAssist)	郡山市	教育、学習支援業	令和2年3月10日	3
7	公益財団法人磐城済世会	いわき市	医療・福祉	令和2年3月30日	3
8	公益財団法人湯浅報恩会	郡山市	医療・福祉	令和2年5月21日	3
9	社会福祉法人すこやか福祉会	福島市	医療・福祉	令和2年5月21日	3
10	社会福祉法人郡山福祉会	郡山市	医療・福祉	令和2年11月4日	3
11	公益財団法人金森和心会	郡山市	医療・福祉	令和3年4月6日	3
12	社会福祉法人信達福祉会	伊達市	医療・福祉	令和3年4月6日	3
13	社会福祉法人南町保育会	会津若松市	医療・福祉	令和5年2月9日	3
14	福島サンケン株式会社	二本松市	製造業	令和5年6月9日	3
15	会津オリンパス株式会社	会津若松市	製造業	令和5年8月23日	3
16	社会福祉法人福島福祉施設協会	福島市	社会福祉事業	令和5年8月29日	3
17	福島キヤノン株式会社	福島市	製造業	令和6年2月19日	3
18	ファーマリア社会保険労務士法人	福島市	学術研究、専門・技術サービス業	令和6年2月19日	2
19	社会保険労務士法人ニア・コンサルティング	福島市	学術研究、専門・技術サービス業	令和6年4月23日	2
20	株式会社キスキ	福島市	建設業	令和6年5月9日	3
21	東北ネヂ製造株式会社	いわき市	製造業	令和6年7月18日	2
22	行政書士法人近藤事務所	福島市	学術研究、専門・技術サービス業	令和6年9月24日	2
23	株式会社福島インフォメーションリサーチ & マネジメント	いわき市	情報サービス業	令和6年10月9日	3
24	株式会社ヨシハラ	本宮市	製造業	令和6年12月10日	3
25	イービーエム株式会社	福島市	製造業	令和6年12月10日	2

# 福島県内の「えるぼし認定」企業分布図

資料 4

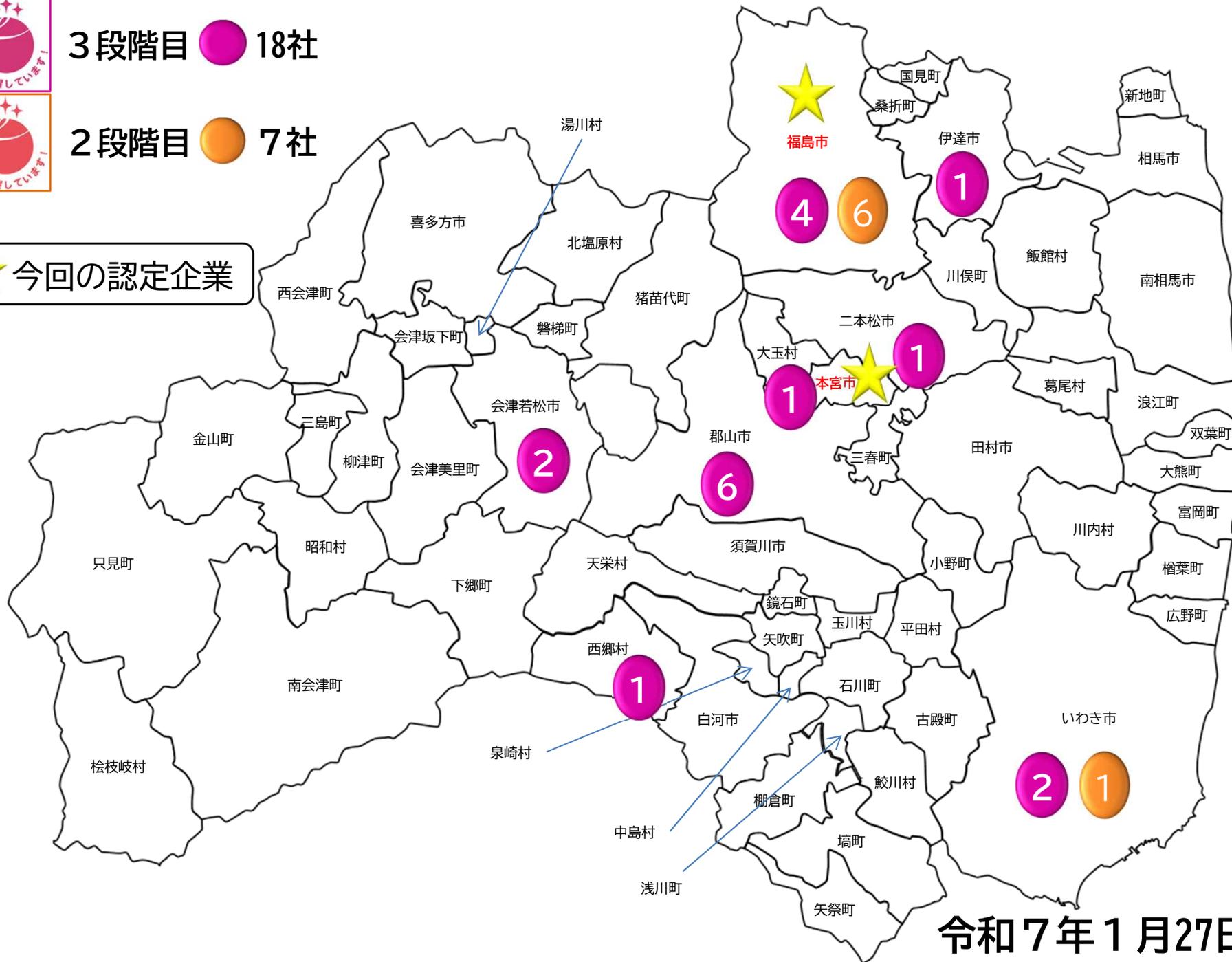


3段階目 ● 18社



2段階目 ● 7社

★ 今回の認定企業



令和7年1月27日現在